

登別市 鉦山町 大峠 (667.2m)

「ふおれすと鉦山」～ 大峠往復

- ・ 山行日 平成26年4月5日 (土)
- ・ 参加者 16名 山行リーダー：安田、総括：藤木(晴)
A班：澤田、長沼、鈴木、及川、川村(純)、笹山
B班：山岸、藤木(た)、近藤、本野、渡邊、東海林、谷、斎藤
- ・ コースタイム 7:00 登別市民会館集合出発 → 7:20 鉦山駐車場 →
7:35 登山開始 → 8:05 旭鉦の沢支線大曲分線 →
9:05 林道終点(取り付き入口) → 9:25 送電線の真下通過 →
10:20 Cont500 稜線 → 11:30 大峠最高点に到着 →
11:40 GPSにてめざす大峠ポイントに到着(写真) →
11:50 昼食地点へ下山 → 12:07 昼食地点に到着(昼食) →
12:55 下山開始 → 13:48 林道終点(取り付き入口) →
15:00 鉦山駐車場 → 15:30 登別市民会館解散
(登り：4時間5分、下り：3時間10分)

午前7時、曇り空で雪が散らつく中、車4台で、「ふおれすと鉦山」そばの駐車場へ向かう。大峠は会としては初めての山行とのこと。かつて先人が壮瞥硫黄山から採れた鉦石を幌別鉦山まで運ぶため山越えに通っていたのが、この大峠。どんな山行になるか楽しみです。

7時35分、登山開始。積雪は少なくしばらくはツボ足で歩く。途中、雪の下からふきのとうが顔をのぞかせ、春の訪れを実感。

「旭鉦の沢支線大曲分線」の標識を過ぎたころから雪が深くなりスノーシューに履き替え。

9時5分、林道歩きが終わり、取り付き入口に到着。まさかこれから、道なき道を、スノーシューでの藪漕ぎが待ち受けているとは知らず。。。笹を踏み付けかき分けながら少し進むと、地図に記載されていた送電線の真下を通過。方向OK！！

10時5分、Cont500の手前。雪が解けてスノーシューでは登れないと判断。スノーシューを外し、強烈な藪漕ぎをしながら急斜面を登る。時間にして、わずか5分間ではあったが、この春先にとんでもない経験をしたという感じです。登りきったところで、またスノーシューに履き替え。

Cont500から560の間は、両サイドが谷の

稜線歩き。「登別市と壮瞥町の国境稜線」を先人の苦勞に思いを馳せながら歩く。

11時20分、大峠取り付きの手前に到着。いっきに登り、11時30分、大峠最高点に到着。風がかなり強い！！ここからは、来馬山、幌別ダム、カムイヌプリ、室蘭岳、伊達黄金山が一望。その後ろ姿は美しかった！！

11時40分、ついに、大峠ポイントに到着。近くには、どっしりとしたシンボルツリーが一本大峠を見守っていた。強風にもめげず、喜びいっぱい記念写真を撮る。昼食後は順調に下山。途中、林道終点に着いた頃、激しく粉雪が降ってきた。祝福のなごり雪でした！！

安田リーダーそしてメンバーのみなさん、春の訪れを感じる心さわやかな楽しい山行をありがとうございました。



強風の中、シンボルツリーをバックに記念写真



大峠登頂後室蘭、伊達方面の山々を楽しみながらの下山